

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	インターンシップ		
英文授業科目名	Internship		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名			
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
matsui@se.uec.ac.jp	<a href="http://www.crc.uec.ac.jp/japanese/index.html">http://www.crc.uec.ac.jp/japanese/index.html</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>この科目は大学が企業等の協力を得て次のような目的と意義で行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産と技術の実際に関し、関心と興味を深める</li> <li>2. 技術と経済性、作業と安全の一体不可分を体得させる</li> <li>3. 技術開発の実際問題に直面させ、その問題解決、帰結を図る技能を養う</li> <li>4. 将来、研究・技術者として活動するときの心構え、抱負、職業適性の涵養に努める</li> <li>5. 人的協力の必要性と知識人としてのあり方を自ら検討させる</li> <li>6. 企業等の就業体験から勤労の尊さを認識させる</li> <li>7. 実習体験を通じて工学教育の意義を理解し、卒業後適材適所に進む指針とする</li> </ol>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特にありません。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
この期まで着実に単位を取得していることです。

<b>【教科書等】</b>
実習先企業の指示に従います。

【授業内容とその進め方】

インターンシップの履修要項

- (1)原則として1年次の夏期休業中に行います。
- (2)期間は、4週間、90時間以上とします。ただし、日数は短縮することがあります。
- (3)予め、「インターンシップ願」を提出して許可を受けなければなりません。
- (4)インターンシップ期間中は、実習先の諸規定および監督者等の指示に従わねばなりません。
- (5)インターンシップ終了後、「インターンシップ報告書」を速やかに、提出する必要があります。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

実習先からの「インターンシップ修了書」(実習先責任者による報告,出席状況を含む)と「インターンシップ報告書」によって,前項で説明したインターンシップの目的に対する達成状況を総合的に評価します。

【オフィスアワー:授業相談】

特に設けないが、適宜相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

インターンシップの機会は大変貴重なもので、その目的と意義を十分認識した上で積極的に取り組んでください。なお、企業への応募や実施に当たっては、共同研究センターの担当者の指示に従ってください。

【その他】